

2020年9月21, 22日 中央アルプス 北沢尾根～南駒ヶ岳、越百山
メンバー ; L谷内、倉澤、若奈、野中

シルバーウィークで沢を考えていたのですが前半雨天予報のためサブ案としての北沢尾根経由での南駒～越百山へ冬季の下見を兼ねていって来ました。好天に恵まれどっしりと大きな山塊での静かな山歩きを楽しんでくることができました。

9/21 晴れ

AM4:30 茅野発 - 6:20 駐車。2018年の台風災害のため林道通行止めとなっており伊奈川ダム下もみじ荘跡の狭いスペースに停めるのであるがすでに満車に近い状態であったがギリギリセーフ。6:35 発 - 35分でダム上の旧駐車場 - 7:45 福栃平 - 8:20 北沢尾根取り付きで背負い上げ用の水汲み。ケサ沢の橋が崩れているとの情報あり渡渉を覚悟していたのだが無事であり事なきを得る。針葉樹林の尾根に取り付き日陰となってくれてるおかげで順調に高度をかせぎ10:30 ジャンクション (2250m) でようやくの平坦地にたどり着く。この先2300m、2411m 三角点 (11:13 着) とテンバ適地あり。2591mを過ぎる頃からヤセ尾根気味となり、切り開きの乏しいハイマツ帯が現れ突破に消耗す。2712mから先はいよいよの花崗岩帯となり南面を巻くことが多いが冬季稜通しとなるとルートファインディングも含め結構厳しそうな感じをうける。13:50 ようやくという感じで南駒山頂。北沢尾根は思ったより長大で手ごたえのある尾根であった。どっしりとした空木、ゴツゴツ鋭鋒の集まった仙涯嶺、穏やかな越百山と対面した後、今宵の宿泊地たる摺鉢窪へ向け下降し14:45 避難小屋着。昔、オンボロ沢をつめた際に泊まった時と違って立派な小屋となっておりきれいなトイレも併設されている。混雑具合が心配であったが最終的に19人と外のテント3張りという感じであった。

9/22 晴れ

AM3 時起床～4時発 - 4:30 稜線上 - 5時南駒。明るんでくると稜線を乗り越えて伊那側に次々と雲が流れ落ちる「滝雲」という現象に初めて出会うことができ感激。その後ブロッケン現象にも出会うことができ初体験の人にとっては二重の喜びを味わう。6:12 仙涯嶺。基本木曽側を巻いているが、冬季はどうなるのやら。ルーファイが難しそう。7:20 越百山 - 8時コスモ小屋 - 遠見尾根下降 - 10:15 福栃平 - 11:30 駐車地点帰着。